

3-2 復興公営住宅の入居意向

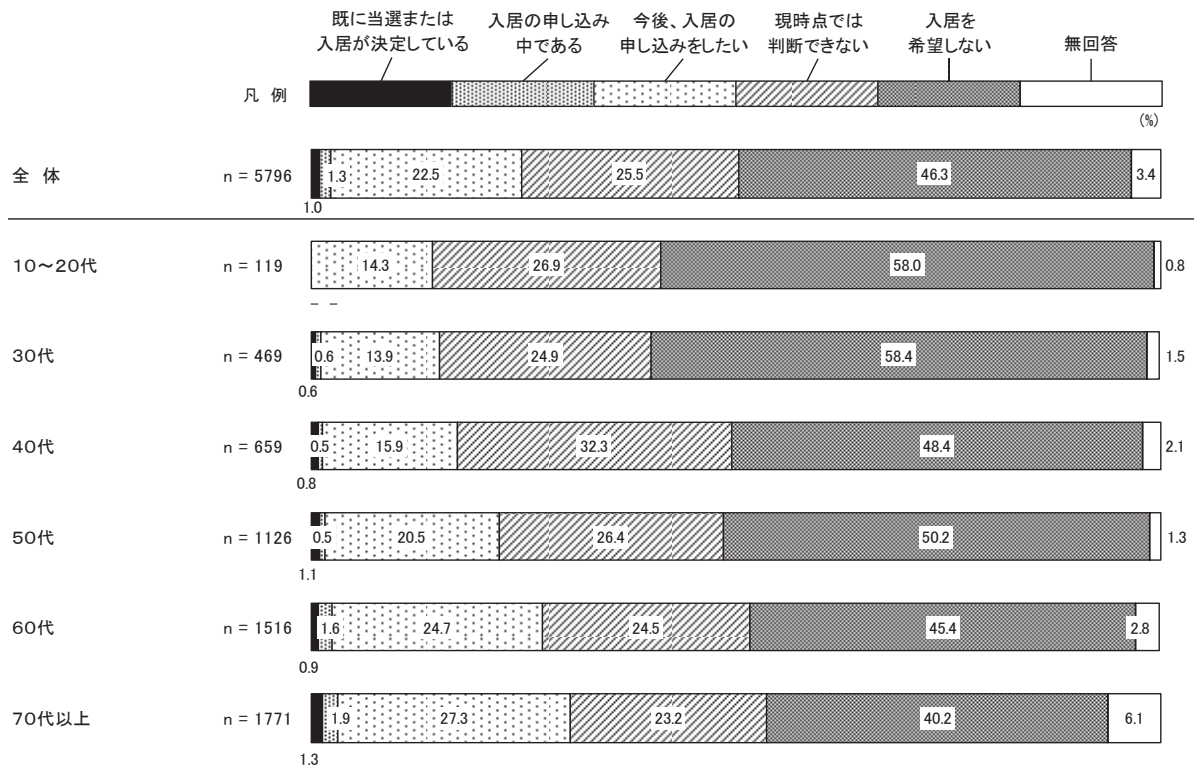
3-2-1 復興公営住宅への入居意向

問 10 現在、福島県は同封資料のとおり、復興公営住宅の整備を進めています。あなたのご家族は、復興公営住宅への入居を希望しますか。(〇は1つ)

復興公営住宅への入居意向については、入居を希望しない世帯が46.3%と最も高く、次いで、現時点では判断できない世帯が25.5%、入居意向のある世帯（「既に当選または入居が決定している」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居の申し込みをしたい」）が24.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、入居を希望しない世帯は、いずれの年齢でも最も高いが、入居意向のある世帯（「既に当選または入居が決定している」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居の申し込みをしたい」）は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっている。

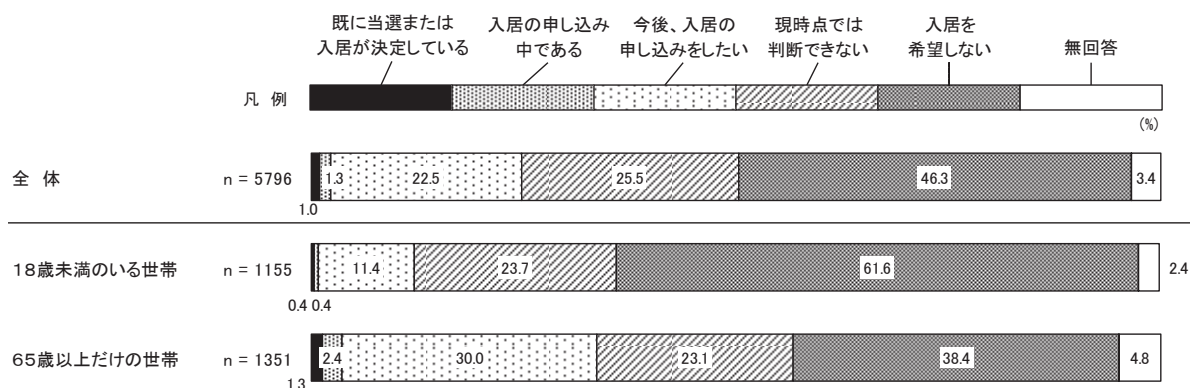
<図表3-2-1-1 復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



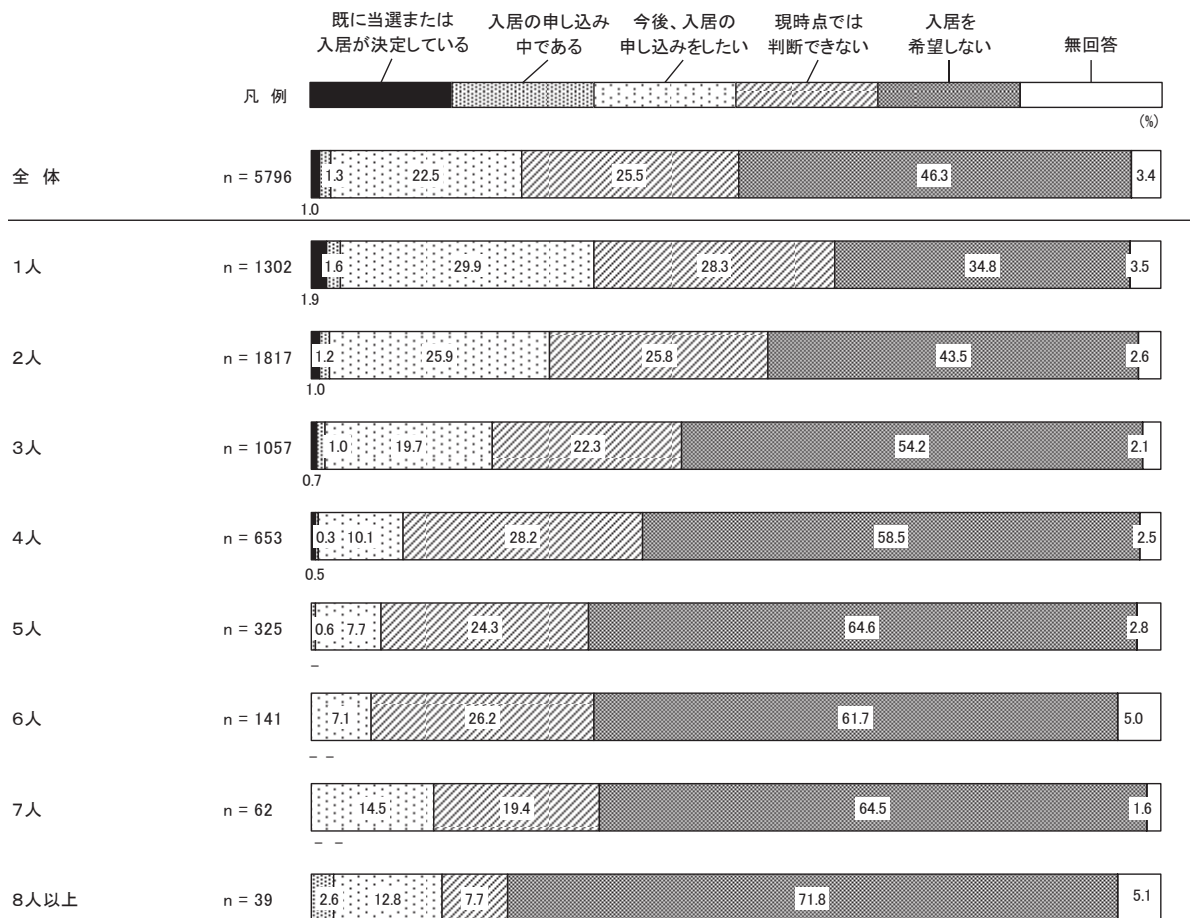
現在の世帯構成別にみると、「入居を希望しない」は18歳未満のいる世帯で61.6%と高くなっている。一方、65歳以上だけの世帯では、入居意向のある世帯（「既に当選または入居が決定している」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居の申し込みをしたい」）は33.7%となっている。

現在の世帯人数別にみると、「入居を希望しない」は概ね人数が多くなるにつれ高くなっており、5人以上では6割を超える。一方、「今後、入居の申し込みをしたい」は1人が29.9%と最も高く、概ね世帯人数が多くなるにつれ低くなる。

<図表3-2-1-2 復興公営住宅への入居意向（世帯構成別）>

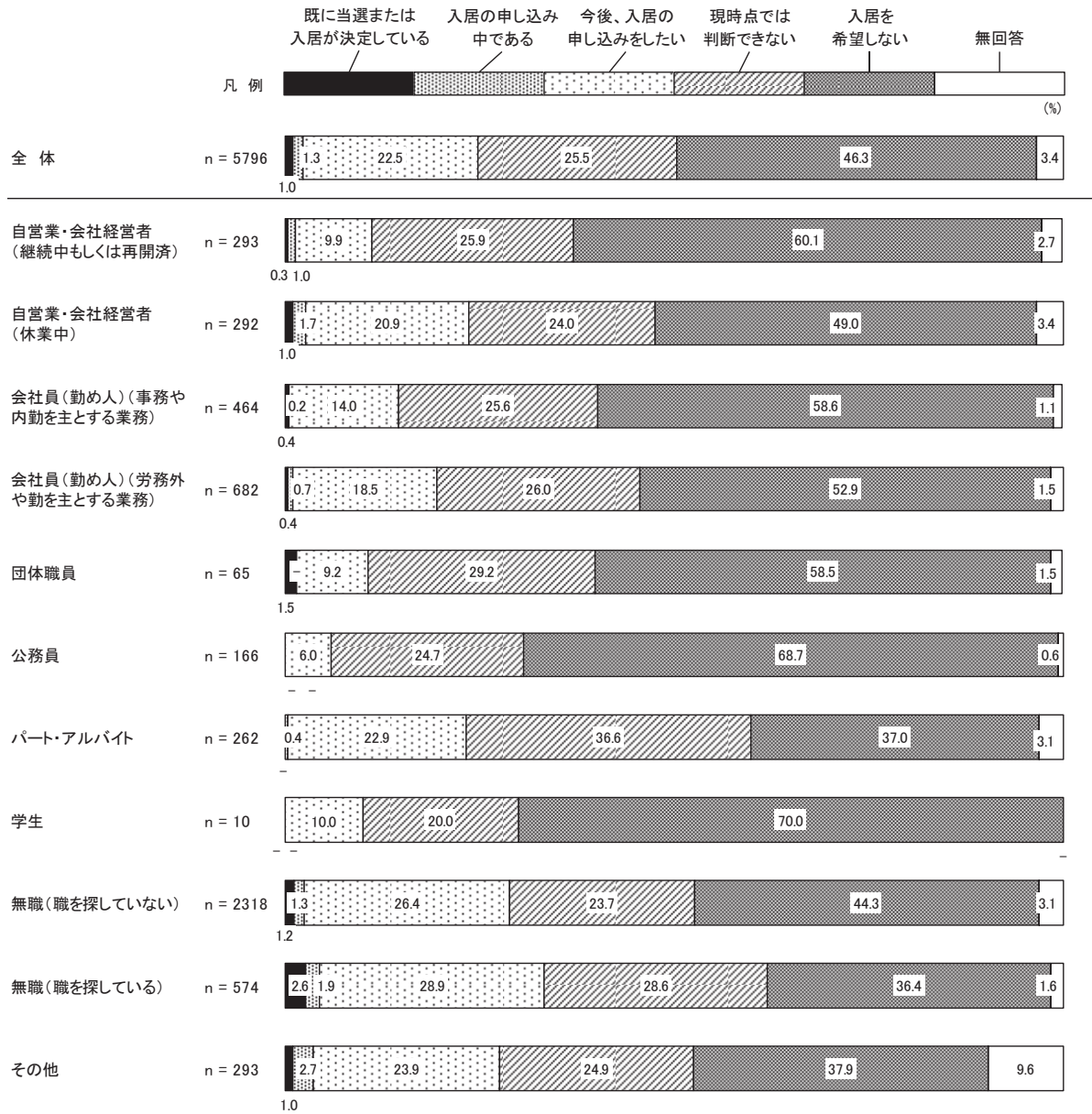


<図表3-2-1-3 復興公営住宅への入居意向（世帯人数別）>



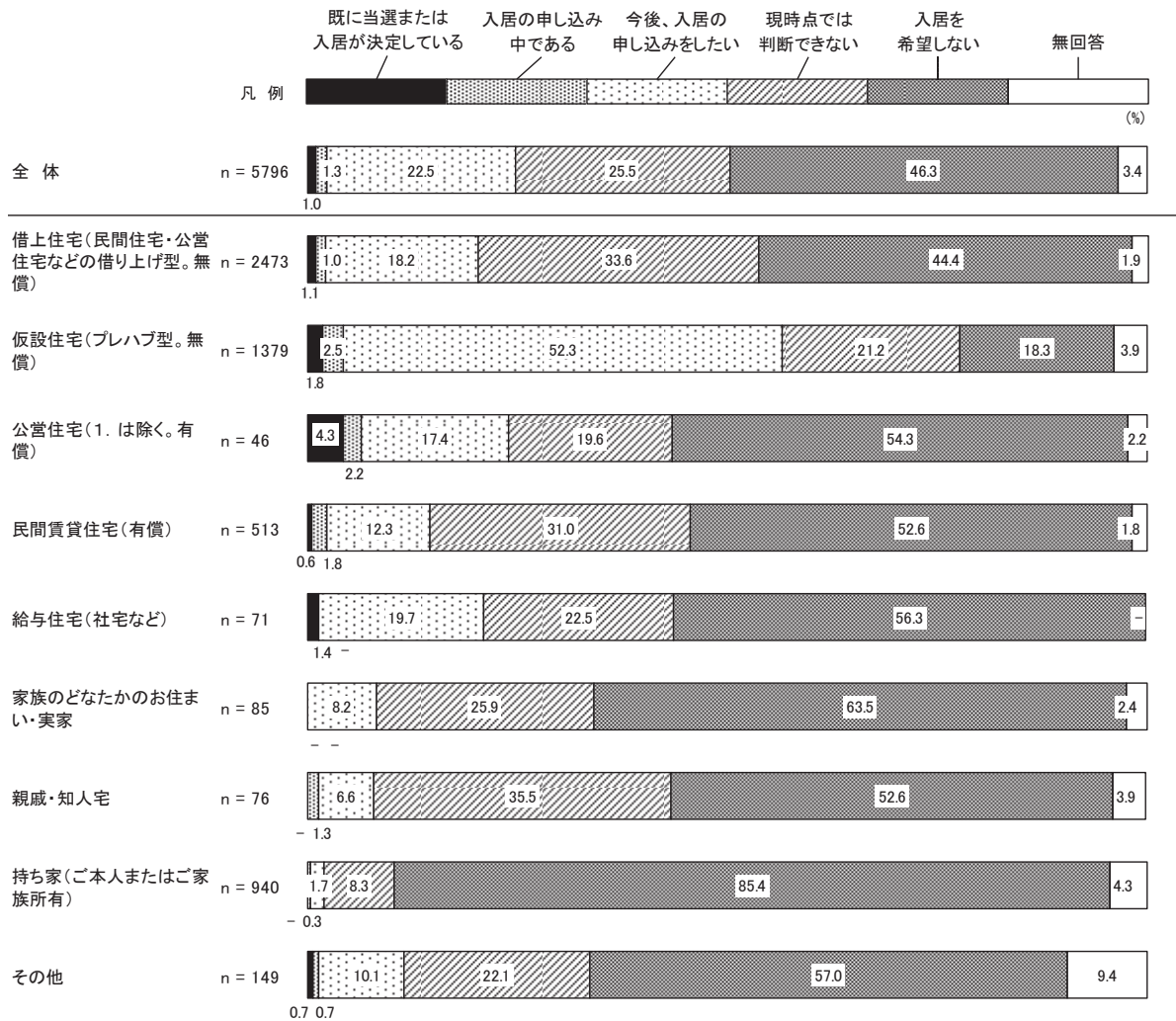
職業別に見ると、「入居を希望しない」は公務員が68.7%となっており、他の職業に比べ高くなっている。「今後、入居の申し込みをしたい」は無職（職を探している）（28.9%）、無職（職を探していない）（26.4%）が、他の職業と比べ高くなっている。

<図表3-2-1-4 復興公営住宅への入居意向（職業別）>



現在の住居形態別にみると、「入居を希望しない」は、持ち家（ご本人またはご家族所有）（85.4%）が他の住居形態別と比べ高くなっている。「今後、入居の申し込みをしたい」は、応急仮設住宅（プレハブ型。無償）で52.3%となっており、他の住居形態と比べ高くなっている。

<図表3-2-1-5 復興公営住宅への入居意向（現在の住居形態別）>



3-2-2 復興公営住宅への入居を希望する自治体と世帯構成

【問 10で「1. 既に当選または入居が決定している」「2. 入居の申し込み中である」「3. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-1 入居を希望する、または申し込みを行っている復興公営住宅の地域、入居する際の家族構成についてお聞かせください。

※家族が多い等の理由により、分散して入居される方（希望を含む）は、下表の〈1世帯目〉、〈2世帯目〉の行にそれぞれお答えください。

※分散入居がない（希望しない）場合は、下表の〈2世帯目〉の行では、「14. 分散して入居しない」を選択してください。

〈1世帯目〉

(1) 自治体名を教えてください。(〇は1つ)

(2) 入居する際の家族構成をご記入ください。(人数で回答)

〈2世帯目〉

(1) 自治体名を教えてください。(〇は1つ)

(2) 入居する際の家族構成をご記入ください。(人数で回答)

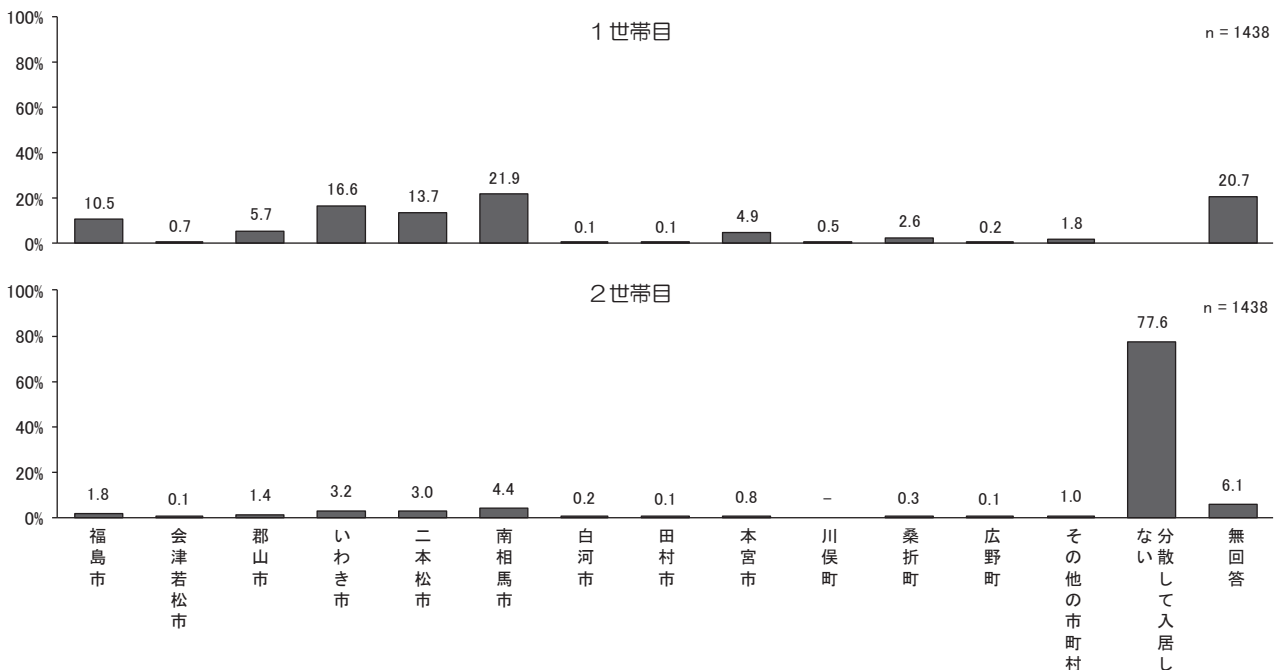
〈1世帯目〉の復興公営入居への入居を希望する自治体については、「南相馬市」が21.9%と最も高く、次いで、「いわき市」が16.6%、「二本松市」が13.7%となっている。

入居を希望する世帯構成（1世帯目）については、「65歳以上のいる世帯」が54.0%と最も高く、次いで「50歳以上60歳未満のいる世帯」が22.9%、「60歳以上65歳未満のいる世帯」が21.8%となっている。世帯人数（1世帯目）については、「2人」が37.7%で最も高く、次いで「1人」が24.9%となっている。

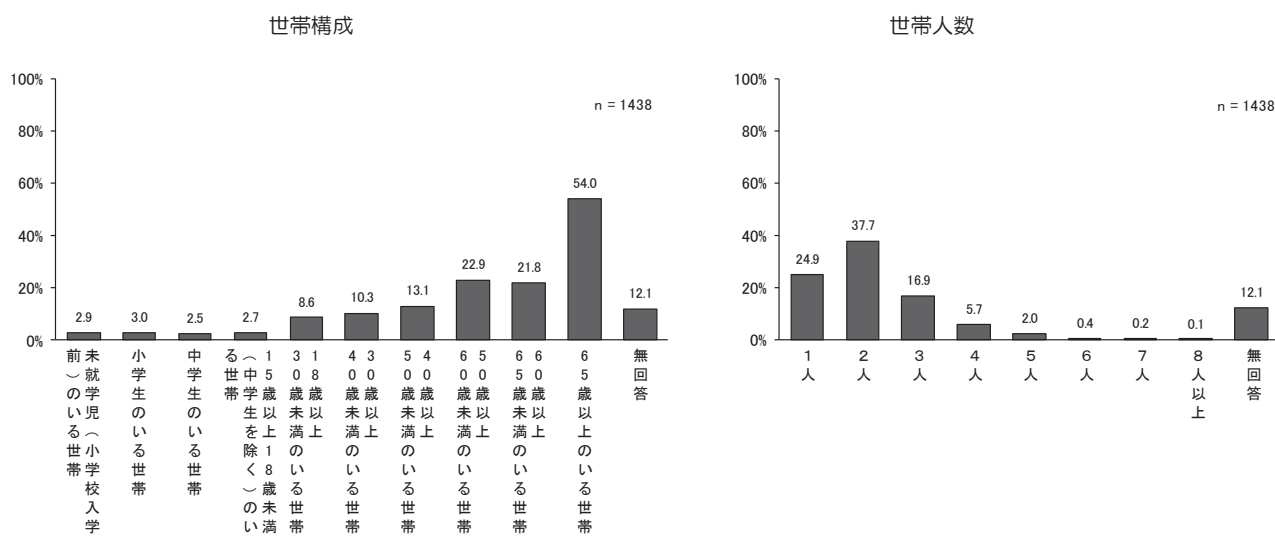
〈2世帯目〉の復興公営住宅への入居を希望する自治体については、「南相馬市」が4.4%と最も高く、次いで、「いわき市」(3.2%)、「二本松市」(3.0%)となっている。

入居を希望する世帯構成（2世帯目）については、「65歳以上のいる世帯」が28.1%と最も高く、次いで「18歳以上30歳未満のいる世帯」が19.6%、「30歳以上40歳未満のいる世帯」が15.3%となっている。世帯人数（2世帯目）については、「1人」が34.9%で最も高く、次いで「2人」が27.2%となっている。

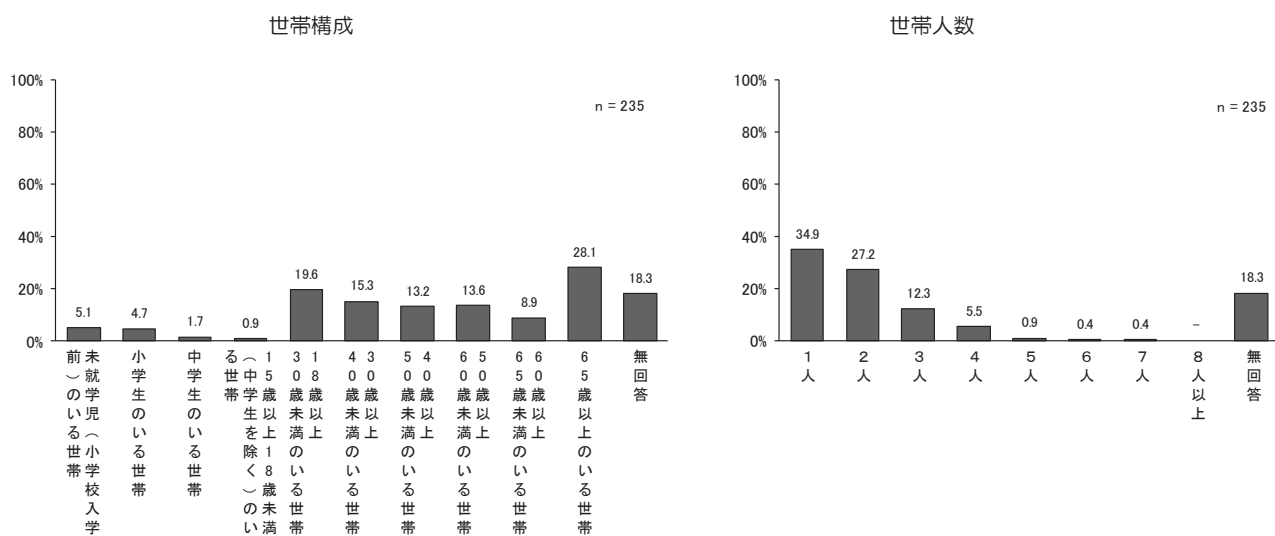
＜図表3-2-2-1 復興公営住宅への入居を希望する自治体＞



<図表3-2-2-2 復興公営住宅への入居を希望する世帯構成・人数（1世帯目）>

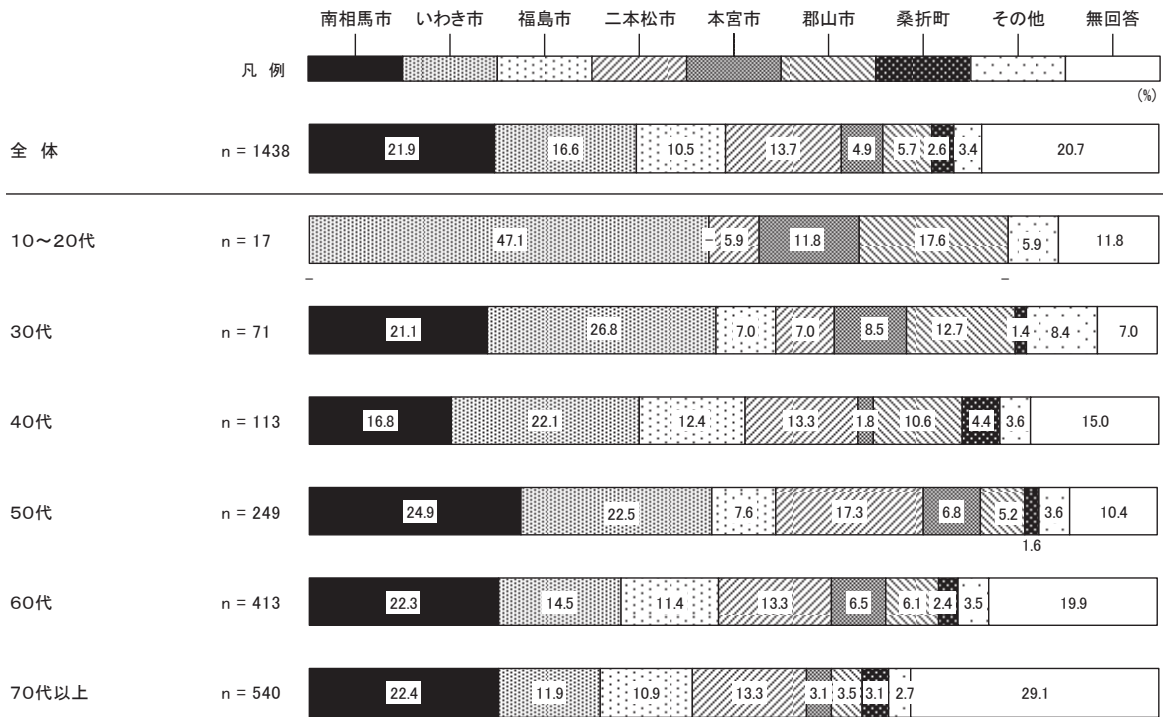


<図表3-2-2-3 復興公営住宅への入居を希望する世帯構成・人数（2世帯目）>



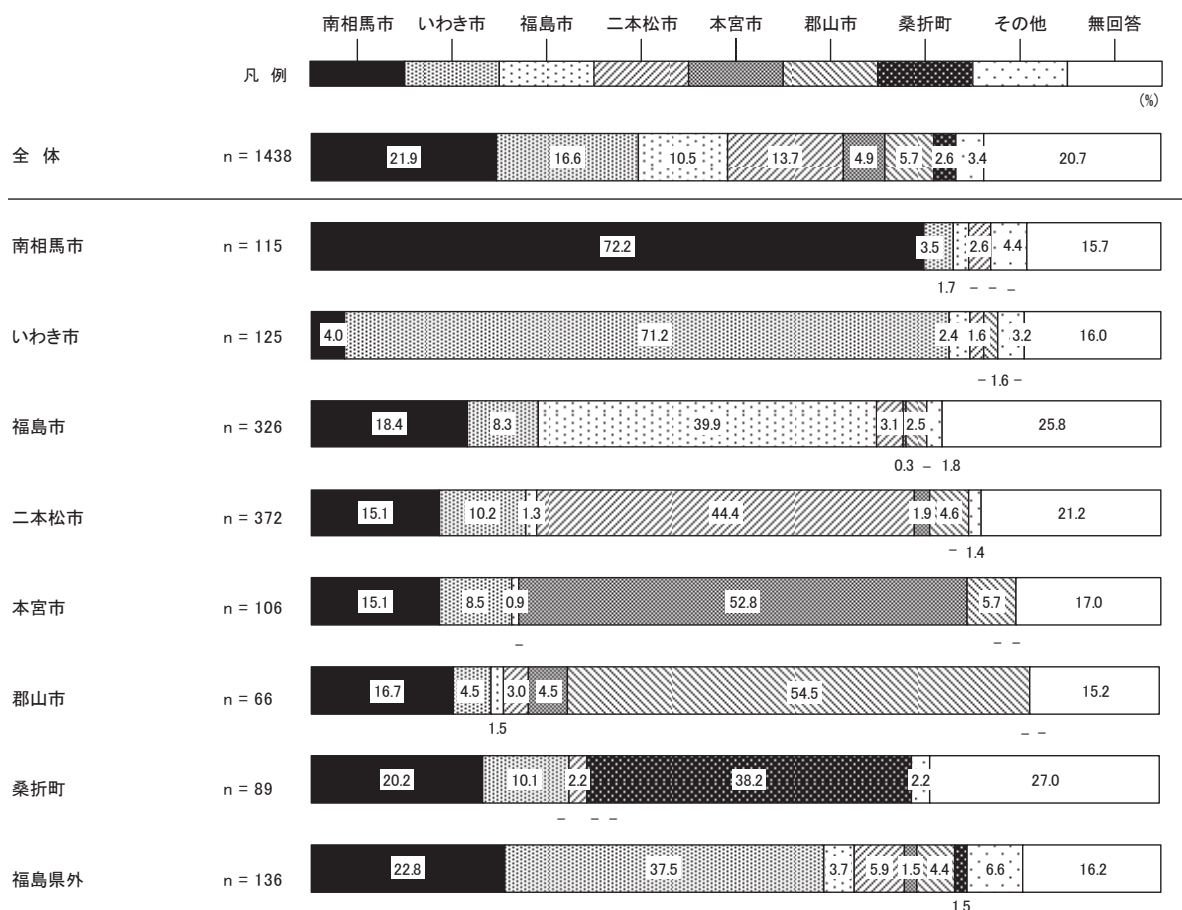
復興公営住宅への入居を希望する主な自治体（1世帯目）について、回答者の年齢別にみると、50代以上では「南相馬市」が最も高くなっているのに対し、30代、40代では「いわき市」が最も高い。

<図表3-2-2-4 復興公営住宅への入居を希望する主な自治体（1世帯目）（年齢別）>



復興公営住宅への入居を希望する主な自治体（1世帯目）について、現在の主な避難先自治体別にみると、いずれの自治体でも避難先の自治体における入居を希望する割合が高いが、福島県外に避難している世帯では、4割弱が「いわき市」への入居を希望している。

＜図表3-2-2-5 復興公営住宅への入居を希望する主な自治体（1世帯目）（主な避難先自治体別）＞



3-2-3 復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービス

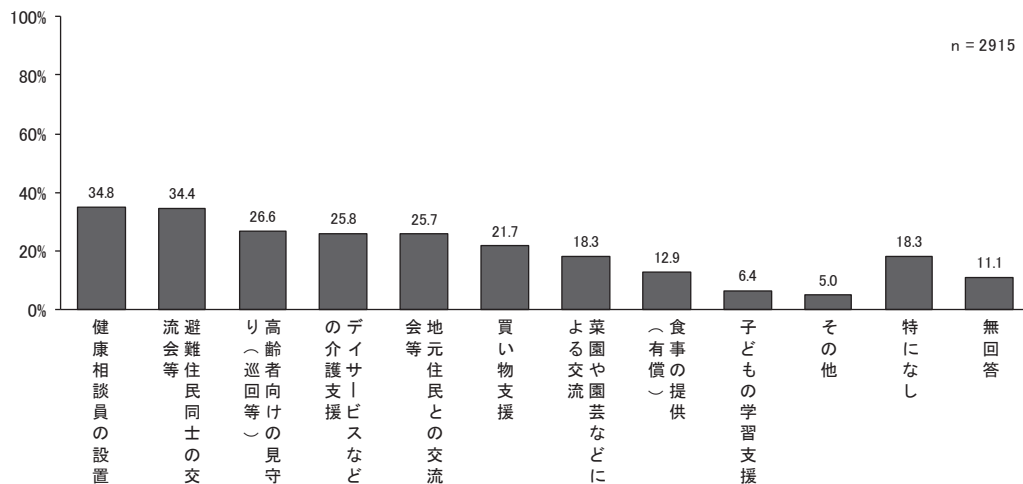
【問10で「1. 既に当選または入居が決定している」「2. 入居の申し込み中である」「3. 今後、入居の申し込みをしたい」「4. 現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

問10-2 復興公営住宅に入居する場合に、サービスとして仮にあった場合、必ず利用するものは何ですか。
(〇はいくつでも)

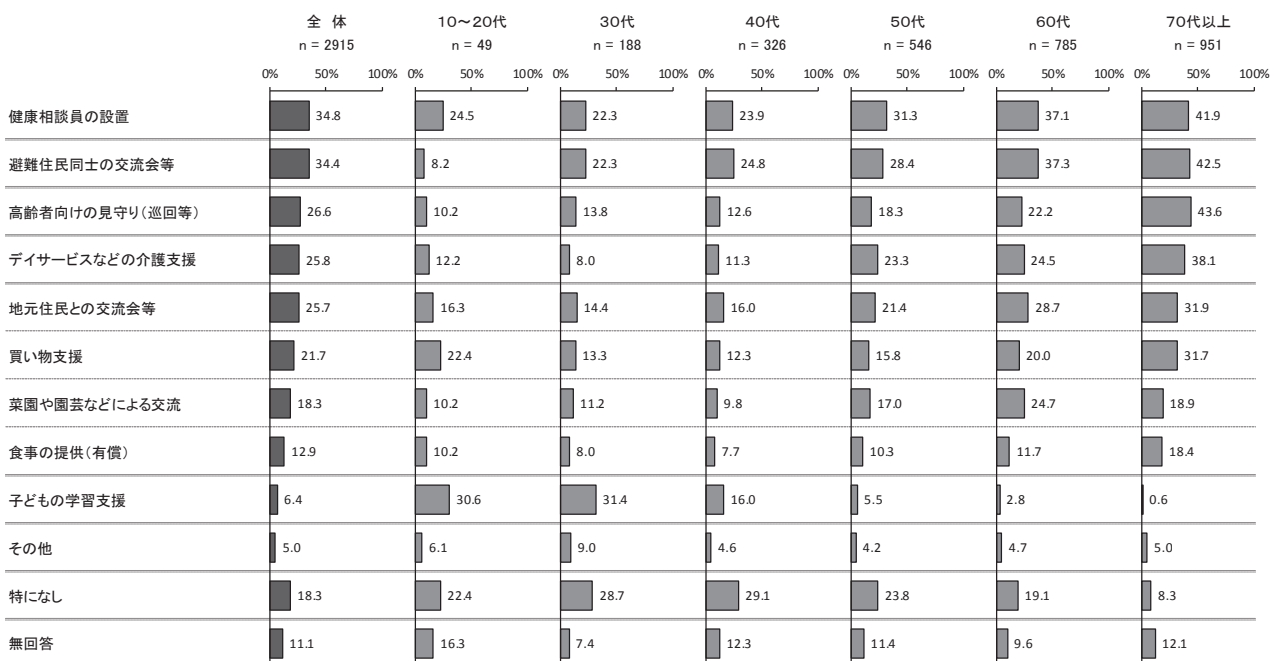
復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービスについては、「健康相談員の設置」が34.8%と最も高く、次いで、「避難住民同士の交流会等」が34.4%となっている。

回答者の年齢別にみると、「高齢者向けの見守り(巡回等)」は70代以上(43.6%)、「デイサービスなどの介護支援」も70代以上(38.1%)で高い。一方、「子どもの学習支援」は10~20代(30.6%)、30代(31.4%)、40代(16.0%)が他の年齢と比べ高くなっている。

<図表3-2-3-1 復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービス>



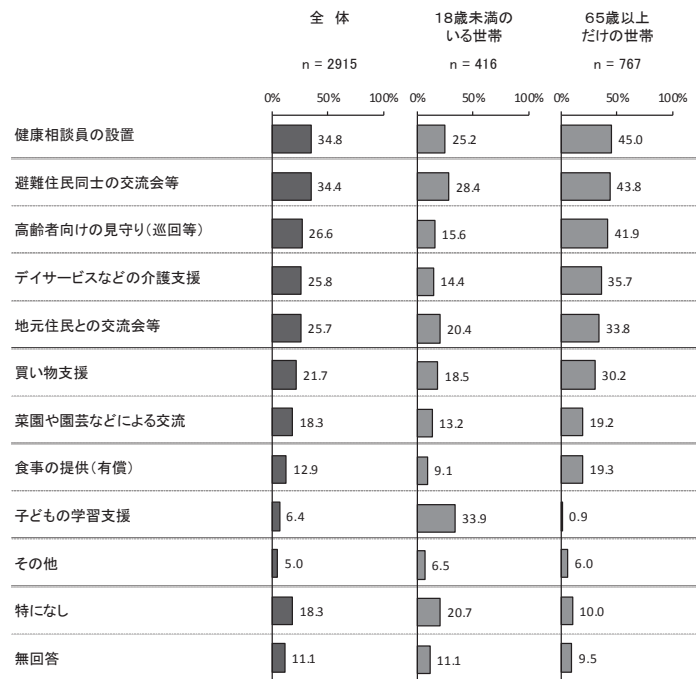
<図表3-2-3-2 復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービス(年齢別)>



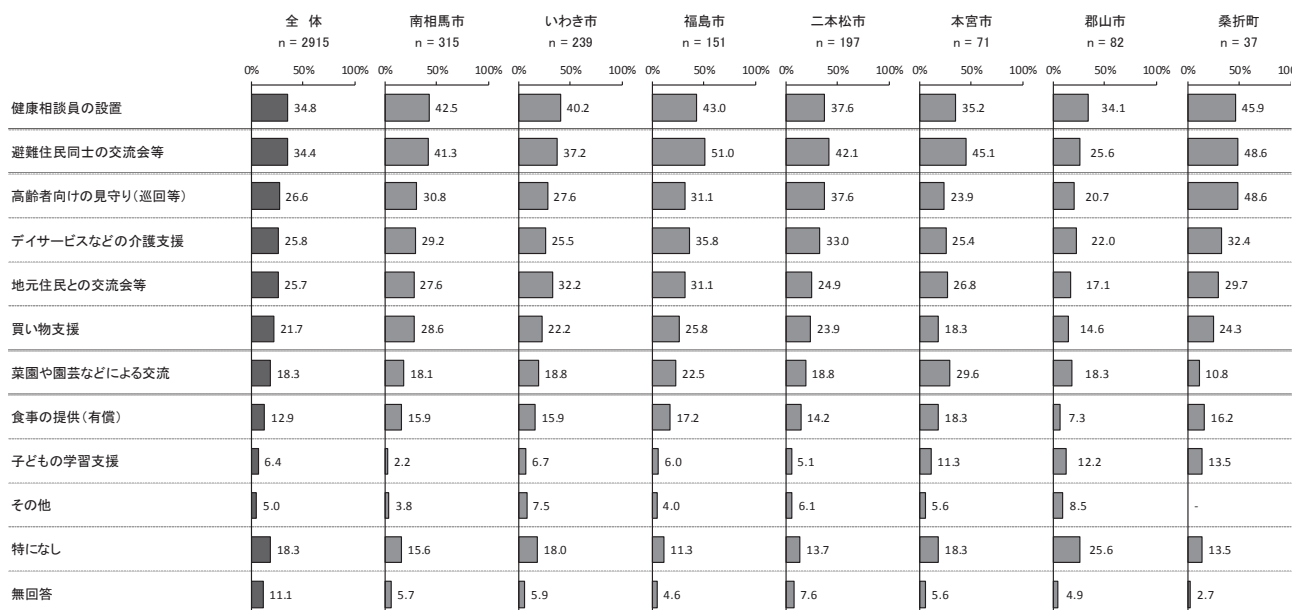
世帯構成別にみると、「高齢者向けの見守り（巡回等）」は65歳以上だけの世帯が41.9%と、18歳未満のいる世帯に比べ高くなっている。また、「避難住民同士の交流会等」（43.8%）や「地元住民との交流会等」（33.8%）も同様に65歳以上だけの世帯で高い。一方、18歳未満のいる世帯では、「子どもの学習支援」が33.9%と高くなっている。

入居を希望する主な自治体別にみると、南相馬市、いわき市、郡山市では「健康相談員の設置」が最も高く、福島市、本宮市、二本松市では「避難住民同士の交流会等」、桑折町では「避難住民同士の交流会等」、「高齢者向けの見守り（巡回等）」（ともに48.6%）が最も高くなっている。

＜図表3-2-3-3 復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービス（世帯構成別）＞



＜図表3-2-3-4 復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービス（入居を希望する主な自治体別）＞



3-2-4 復興公営住宅への入居を判断できない理由

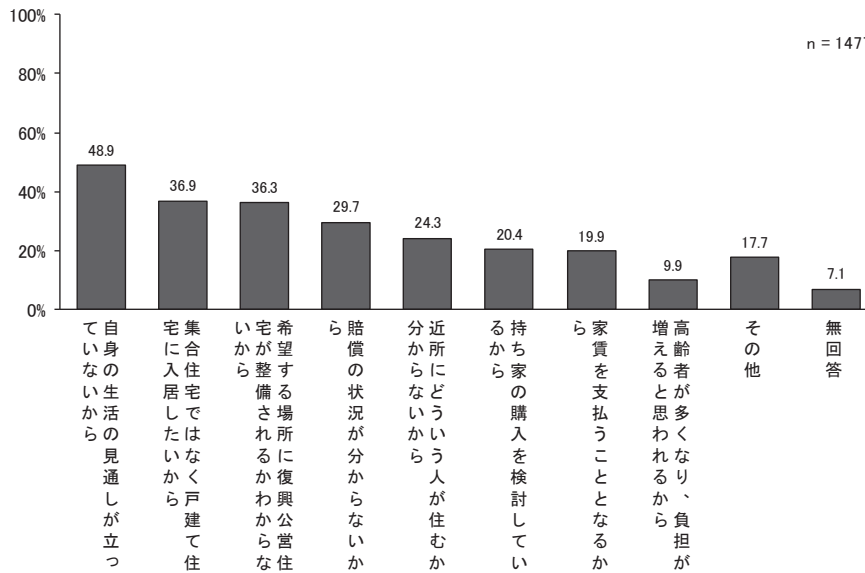
【問10で「4. 現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

問10-3 復興公営住宅への入居が、現時点で判断できない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

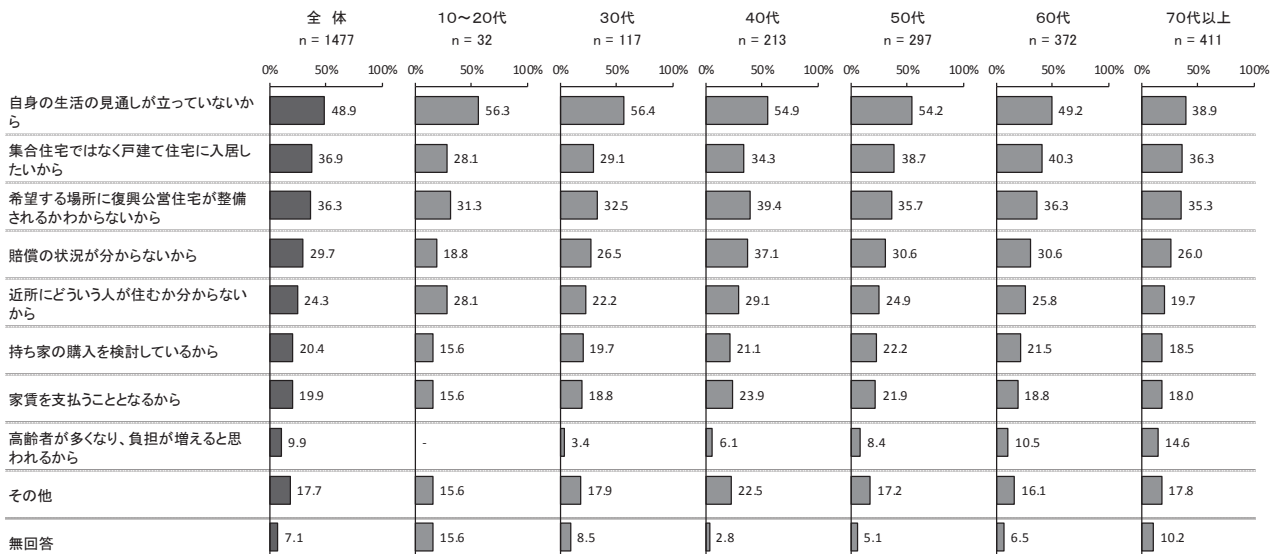
復興公営住宅への入居を判断できない理由については、「自身の生活の見通しが立っていないから」が48.9%で最も高く、次いで、「集合住宅ではなく戸建て住宅に入居したいから」が36.9%、「希望する場所に復興公営住宅が整備されるかわからないから」が36.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、「自身の生活の見通しが立っていないから」は10~20代(56.3%)、30代(56.4%)が他の年齢に比べ高くなっている。「集合住宅ではなく戸建て住宅に入居したいから」は、60代(40.3%)が他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-4-1 復興公営住宅への入居を判断できない理由>

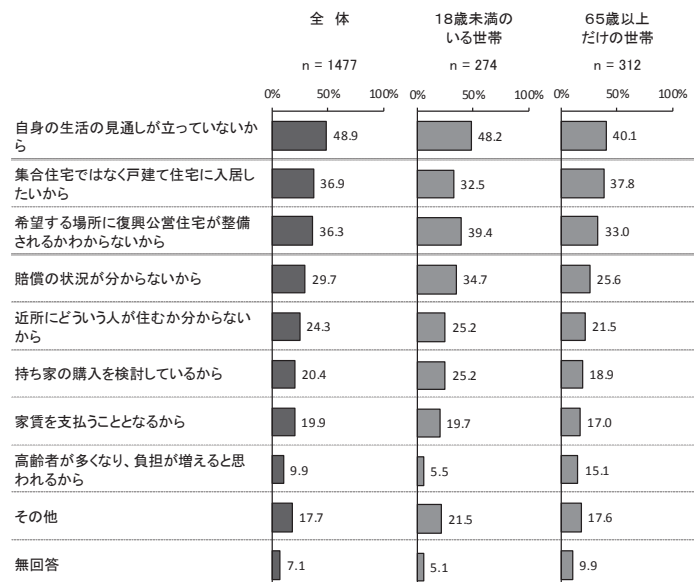


<図表3-2-4-2 復興公営住宅への入居を判断できない理由(年齢別)>



世帯構成別にみても、「自身の生活の見通しが立っていないから」はいずれの世帯構成でも最も高くなっているが、「希望する場所に復興公営住宅が整備されるかわからないから」は18歳未満のいる世帯で39.4%と65歳以上だけの世帯に比べ高くなっている。

＜図表3-2-4-3 復興公営住宅への入居を判断できない理由（世帯構成別）＞



3-2-5 復興公営住宅に入居しない場合に希望する住居形態

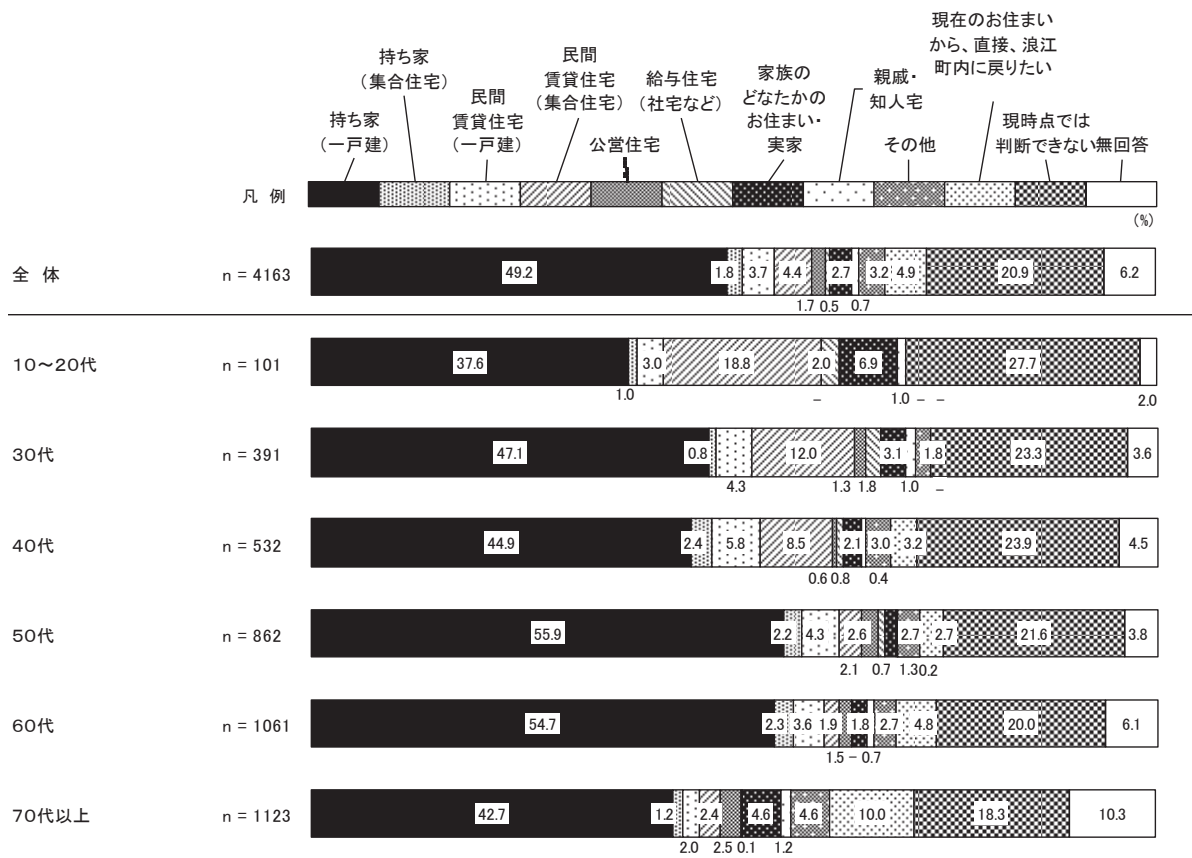
【問10で「4. 現時点では判断できない」または「5. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

問10-4 判断するまでの間、または入居を希望しない場合に、(現在、借上住宅や仮設住宅にお住まいの方は、いずれ制度が終了した場合) どのようなお住まいをお考えですか。(〇は1つ)

復興公営住宅への入居を希望しない場合の今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が49.2%と最も高く、次いで、「現時点では判断できない」が20.9%、「現在のお住まいから、直接、浪江町内に戻りたい」が4.9%となっている。

回答者の年齢別にみても、「持ち家（一戸建）」がいずれの年齢も最も高くなっている。

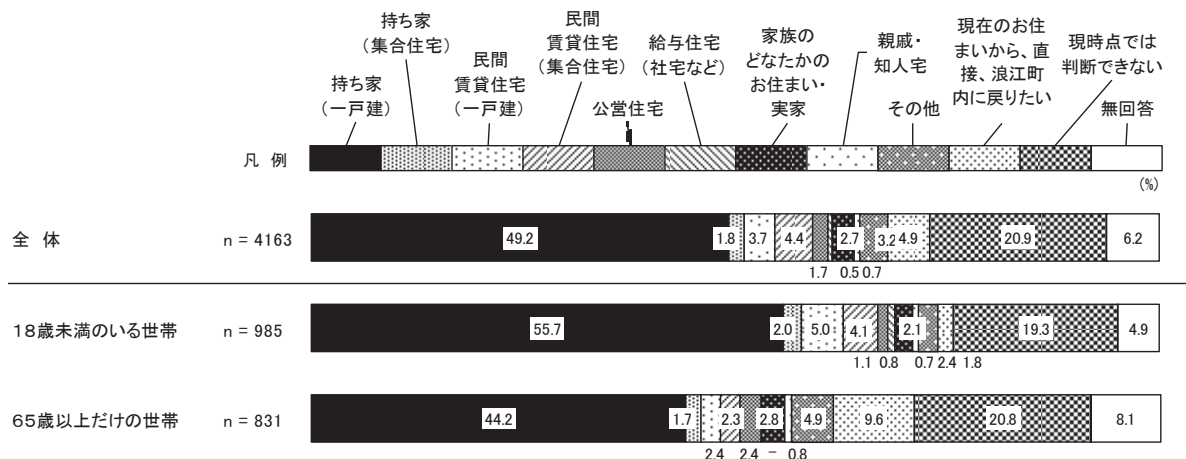
<図表3-2-5-1 今後の住まいとして希望する住居形態（年齢別）>



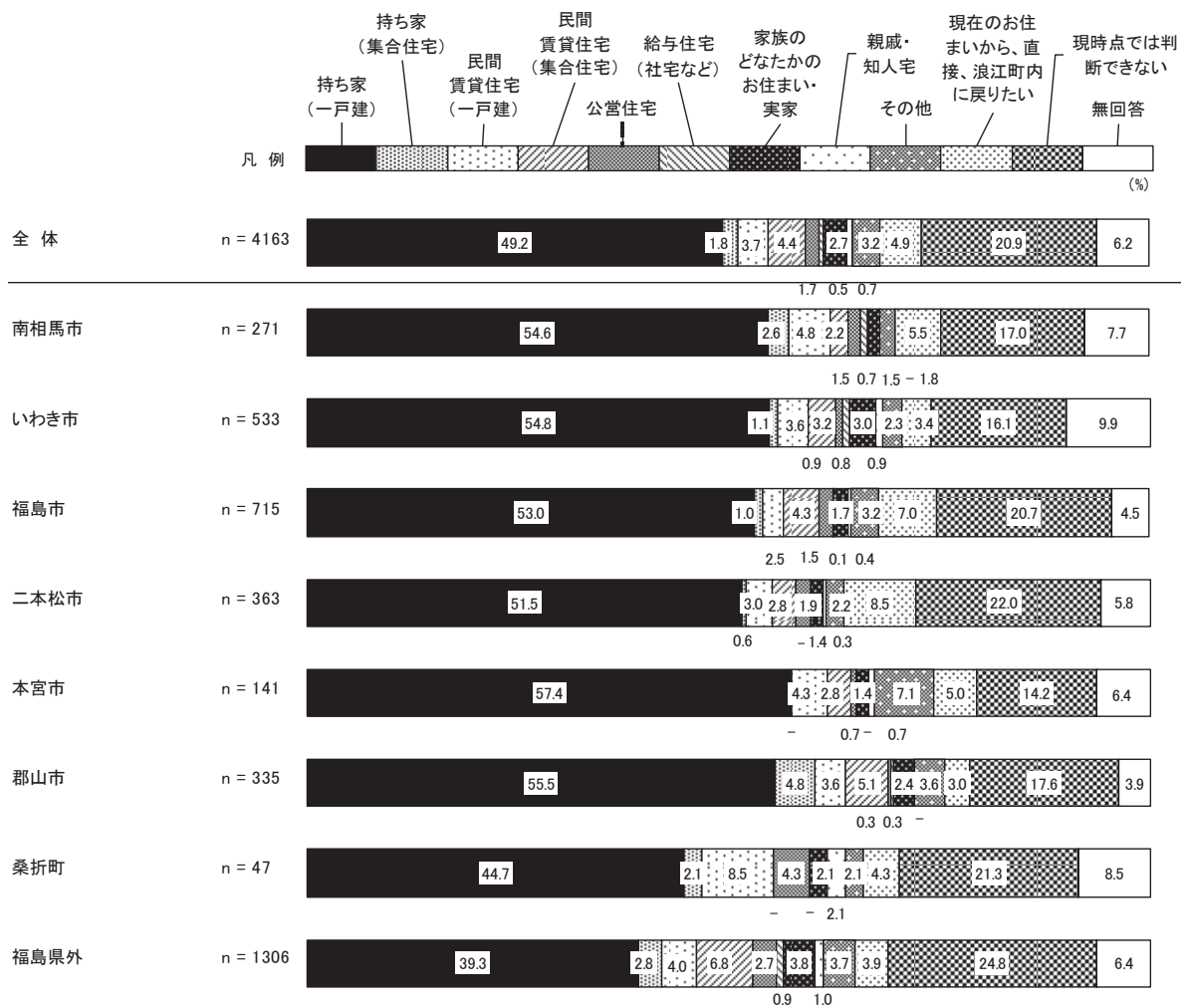
世帯構成別にみると、「持ち家（一戸建）」は18歳未満のいる世帯で55.7%と65歳以上だけの世帯に比べ高い。

主な避難先自治体別にみると、本宮市に避難している6割弱が「持ち家（一戸建）」を希望している。

＜図表3-2-5-2 今後の住まいとして希望する住居形態（世帯構成別）＞



＜図表3-2-5-3 今後の住まいとして希望する住居形態（主な避難先自治体別）＞



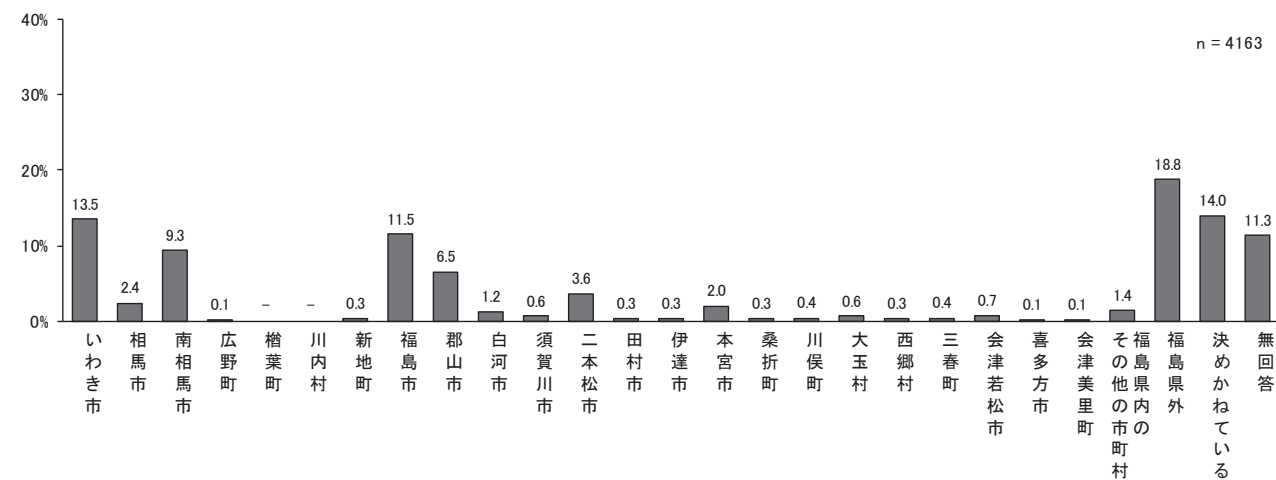
3-2-6 復興公営住宅への入居を希望しない場合に居住したい自治体

【問10で「4. 現時点では判断できない」または「5. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

問10-5 判断するまでの間、または入居を希望しない場合に、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

復興公営住宅への入居を希望しない場合に居住したい自治体については、「福島県外」が18.8%と最も高く、次いで、「決めかねている」が14.0%、「いわき市」が13.5%となっている。

<図表3-2-6-1 入居を希望しない場合に居住したい自治体>



主な避難先自治体別にみると、現在いわき市に避難している世帯の73.4%が同じ「いわき市」への居住を希望しており、同じ自治体への居住を希望する割合は、南相馬市（67.5%）、郡山市（61.5%）と比べて高くなっている。一方、福島県外に避難している世帯の53.3%が同じ福島県外への居住を希望しているが、「決めかねている」世帯も23.2%となっており、他の避難先自治体と比べ高くなっている。

<図表3-2-6-2 入居を希望しない場合に居住したい主な自治体（主な避難先自治体別）>

